

柏南ロータリークラブ 会報

2025-2026 片岡達生年度



よいことのために
手を取り合おう



第46代会長 片岡 達生
幹事 井畑 和士 齊藤 洋子

第2050回 2026年6月16日 (火)

会長挨拶

皆様、こんにちは。本日もお集まりいただき、ありがとうございます。
前回の例会で服部秀雄会員よりいただいた卓話のなかで紹介された「人間到る処青山あり」という言葉が、いまでも胸に残っています。幕末の僧・月照の詩の一節で、「青山」とは自らの人生をかけて生き切る場所のこと。故郷の梓にとどまらず、志を抱いて広い世界へ出ていけ——そういう励ましの言葉です。
この言葉を、ガバナー補佐をお引き受けになる服部会員のお姿に重ねています。慣れ親しんだクラブから一步を踏み出し、より広い地区へと奉仕の場を広げていかれる。その決断に「到る処青山あり」の心意気を感じます。



同時に、会長年度を終えようとする私自身にも、この言葉は語りかけてきます。任期の終わりは終わりではなく、新たな場所への出発なのだ。ロータリーでも本業でも、向かう先に力を尽くすべき「青山」は必ずある——そう思えば、迷わず前を向いて歩いていきます。

次年度・井畑年度の活動計画書をめぐり、法人会員制度について活発な議論が交わされ、クラブ内の関心が高まってきたことを、大きな喜びとして受け止めています。ロータリーの基本はあくまで「ロータリアン＝個人」。RIはその原則を堅持しつつ、各クラブ独自のルールである法人会員制度を、会員基盤を強化するモデルとして提案しています。個人を基本に据えながらクラブの工夫として生かす——この両立の発想こそ、これからの鍵だと考えています。そして本日の卓話は、私自身による一年間の振り返りです。どうぞ最後までお付き合いください。よろしくお願いいたします。

お食事・ニコニコ

ワンコインニコニコ 4,051円
累計 54,106円



幹事報告

今後の予定

6月30日(火) 交替式
ザ・クレストホテル柏
7月 7日(火) 通常例会・理事会
卓話 井畑和士会長
7月14日(火) 夜間例会 パレット柏 ルームB
各委員長の方針発表
7月21日(火) 祝日休会
7月28日(火) 通常例会
卓話 妙川善春会員

卓話／「1年間の「振り返り」 片岡達生会長

卓話：片岡年度 一年の振り返り

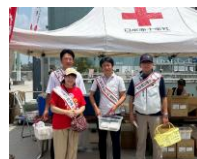
「なかよしクラブこそロータリーの原点」をテーマに掲げた一年でした。明るく・楽しく・居心地よく―仲の良さがあってこそ奉仕も職業人としての成長も育つと信じ、青山で借りた衣装に身を包んだ第1回例会から、満員の皆様に盛大に迎えていただいて走り出しました。ポール・ハリスがロータリーを創ったのは「友達が欲しかったから」。その原点に、私たちのクラブも通じていたいと思いました。



大切にしたのは「ロータリーらしさ」と「やってみよう」の二つの姿勢です。提案はまずやってみる―その心が、夜間例会のパレット開催やテーブルレイアウトの刷新、フレッシュな新保SAAを迎えた新しい例会へと実を結びました。なかでも納涼例会は、施設の子どもがマイクを握って歌う感動の時間となり、会員の皆様からお寄せいただいた約93万円もの協賛金は、皆で力を合わせてこそ成り立ったものでした。ガバナー公式訪問、夜間中学の見学、地区大会、紅葉例会、新年例会と、思い出に残る行事も数多く重ねました。奉仕では、児童養護施設「はぐみの杜かしわ」で「当たり前の日常を支える」という理念を教わり、楽器やパソコンの寄贈、子どもたちとの交流に取り組みました。主役は施設の方々と、私たちはそれを裏から支える―そんな奉仕のかたちを学んだ時間でした。先進的な法人会員制度への関心も高まり、地区からはその先進性を評価いただきました。親睦旅行ではレジェンドロータリアンの皆様と交流し、井畑年度・服部ガバナー補佐への激励もいただきました。次年度に向けてはアニマルセラピーの活動見学にも足を運び、種をまいた一年でもありました。多彩な卓話の数々にも、心より感謝申し上げます。片岡年度の「なかよしクラブ」にご協力いただき、心より御礼申し上げます。井畑年度からは出席向上と会員増強を、皆で頑張ってみましょう。一年間、本当にありがとうございました。



片岡年度では、
“仲良しクラブ”
ご協力いただき
ありがとうございました。



お祝いごと

【会員誕生日】

岡田 尚子 会員

片岡 達生 会員

櫻井 好美 会員

新保 貴 会員

中澤 裕隆 会員

【ご家族誕生日】

片岡 達生 会員

【アニバーサリー】

片岡 達生 会員

